

やまがた木育プログラム体験会



スギのストラップづくり

会場：新庄市 パリス保育園



作成日 2025年9月4日
やまがた森林と緑の推進機構 緑化推進課



園児と挨拶



どっちがスギだろう？



やすりでツルツルに



紙芝居



どの木片がいいかな？



スギのストラップ完成

9月2日（火）パリス保育園（新庄市）にて、やまがた木育プログラム体験会「スギのストラップづくりを通して森の恵みを知ろう」を行いました。

やまがた木育人材養成講座「スキルアップ」修了者の須田祐司さんから講師として指導をしていただきました。

初めに須田さんから紙芝居を用いて「スギの『樹』と『木』」について講話いただきました。紙芝居は園児でも分かりやすいナレーションを新たに作成し、反応を見ながらお話しただきました。森のスギを当てるクイズでは、スギとマツの葉を用意し、見て触れてほとんどの子が正解していました。また、スギ材の特徴についてのお話では、スギとブナの角材を

用意し、木目の違いや重さの違いを感じてもらいました。

スギのストラップづくりでは、園児から好みの木片と紐とビーズを選んでもらい、目の粗さが異なる3種の紙やすりで木片を磨いていきました。

表面がどんどん滑らかになっていく木片に目を輝かせながら「ツルツルになってきたよ！」と見せてくれる子もいて楽しく作ることが出来ました。

今回、園児20名と先生3名の合計23名が木育体験をしました。急遽講師1名での対応となり、各テーブルで指導に当たっていただき時間が短めになりましたが「またやりたい！楽しかった！」と最後は、園児とハイタッチでお別れし、良い木育体験となりました。

【スタッフの振り返り・先生方の感想など】

- ・今回、講師の方が1名でしたが保育園の先生方にも手伝っていただき、滞りなく木育体験を行うことができました。園児の皆さんに喜んでもらえたようで何よりです。
- ・身近な新庄でのことを例にあげ教えていただけたことで子どもたちの興味も深くなった。園児に振り返った時も理解している子がいた。（先生より）
- ・木のストラップ作りを子どもたちと一緒にやすりで削ったり、手伝ったりととても楽しい時間を過ごすことができた。（先生より）

ひとこと

パリス保育園には学生時代、木育について園児に教える機会があり、2回目の訪問でした。スギの“樹”と“木”の紙芝居では木に触れながら真剣に話を聞いてくれました。

スギのストラップづくりでは、楽しくみんなで仕上がりを見せ合いながら作ることができ、私よりも上手に作る子が多く、笑顔あふれる木育体験となりました。（担当T）

